

国際教養学科課程表

2023年度以降入学生適用

※開講学年前期後期欄 { ●－原則としてその学期で開講。
○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分			科 目 名	開講期	開 講 学 年												備 考	
					1 年			2 年			3 年			4 年				
					前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	◎印－必修科目 } ◎印－選択必修科目 ☆－日本語教員資格に必修	
教 養 教 育 科 目	T G ベーシッ ク	人 間 的 基 礎	聖書を学ぶ	半期	●		2									◎	2単位選択必修。4単位まで卒業単位に参入することができる。	
			キリスト教の歴史と思想	半期		●	2								◎			
			キリスト教学A（キリスト教と倫理）	半期								2			} ◎			
			キリスト教学B（キリスト教と宗教）	半期							2							
			キリスト教学C（キリスト教と文化）	半期							2							
		キリスト教学D（キリスト教と現代社会）	半期								2			} ◎				
		共生社会と倫理	半期				○	○	2						} ◎			
		科学技術社会と倫理	半期				○	○	2									
		よき社会生活のためにA（法律）	半期	○	○	2								} ◎				
		よき社会生活のためにB（福祉）	半期	○	○	2												
		よき社会生活のためにC（健康）	半期	○	○	2												
		知 的 基 礎	リーディング&ライティング	半期	○	○	2								} ◎			
			クリティカル・シンキング	半期	○	○	2											
			情報リテラシー	半期	○	○	2								◎			
			統計的思考の基礎	半期	○	○	2								} ◎			
	科学的思考の基礎		半期	○	○	2												
	課 題 探 究	キャリア形成の探究	半期	○	○	2								} ◎				
		東北学院史の探究	半期							○	○	2						
		データ活用による探究	半期				○	○	2									
		地域ボランティア活動の探究	半期	○	○	2												
		地域課題の探究	半期				○	○	2									
		課題探究演習	半期		●	2												
	共 通 教 養 科 目	人 文 系	哲学	半期	○	○	2								} ◎			
			芸術論	半期	○	○	2											
			文化の歴史	半期	○	○	2											
			音楽	半期	○	○	2											
			倫理学	半期	○	○	2											
			文学	半期	○	○	2											
			歴史学	半期	○	○	2											
			文化人類学	半期	○	○	2											
社 会 系		言語論	半期	○	○	2								} ◎				
		心理学	半期	○	○	2												
		社会学	半期	○	○	2												
		経営学	半期	○	○	2												
		経済学	半期	○	○	2												
		法学	半期	○	○	2												
		日本国憲法	半期	○	○	2												
		現代の政治	半期	○	○	2												
		地理学	半期	○	○	2												
		社会福祉論	半期	○	○	2												
		ジェンダー論	半期	○	○	2												
		東北地域論	半期	○	○	2												
自 然 系	数理の科学	半期	○	○	2								} ◎					
	記号論理学	半期	○	○	2													
	生命の科学	半期	○	○	2													
	環境の科学	半期	○	○	2													
	自然の科学	半期	○	○	2													
	先端科学と技術	半期	○	○	2													
	AI社会の基礎	半期	○	○	2													
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●		1								◎				
		英語ⅠB	半期		●	1								◎				
		英語ⅡA	半期				●		1					◎				
		英語ⅡB	半期					●	1					◎				

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。
○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			◎印—必修科目 ◎印—選択必修科目 ☆—日本語教員資格に必修	
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
外国語科目	第 2 類	ドイツ語ⅠA	半期	●	2										週2回開講 ※Bの選択にあたってはAと同一外国語を履修すること	
		フランス語ⅠA	半期	●	2											
		中国語ⅠA	半期	●	2											
		韓国・朝鮮語ⅠA	半期	●	2											
		ドイツ語ⅠB	半期		●	2										
		フランス語ⅠB	半期		●	2										
		中国語ⅠB	半期		●	2										
		韓国・朝鮮語ⅠB	半期		●	2										
		ドイツ語ⅡA	半期				●	1								
		フランス語ⅡA	半期				●	1								
		中国語ⅡA	半期				●	1								
		韓国・朝鮮語ⅡA	半期				●	1								
		ドイツ語コミュニケーションA	半期				●	1								
		フランス語コミュニケーションA	半期				●	1								
		中国語コミュニケーションA	半期				●	1								
		韓国・朝鮮語コミュニケーションA	半期				●	1								
		ドイツ語ⅡB	半期					●	1							
		フランス語ⅡB	半期					●	1							
		中国語ⅡB	半期					●	1							
		韓国・朝鮮語ⅡB	半期					●	1							
		ドイツ語コミュニケーションB	半期					●	1							
		フランス語コミュニケーションB	半期					●	1							
		中国語コミュニケーションB	半期					●	1							
		韓国・朝鮮語コミュニケーションB	半期					●	1							
	第 3 類	ドイツ語ⅢA	半期						●		1					
		フランス語ⅢA	半期						●		1					
		中国語ⅢA	半期						●		1					
		韓国・朝鮮語ⅢA	半期						●		1					
		ドイツ語ⅢB	半期							●		1				
		フランス語ⅢB	半期							●		1				
		中国語ⅢB	半期							●		1				
		韓国・朝鮮語ⅢB	半期							●		1				
保健体育科目		スポーツ実技A	半期	○	○	1										
		スポーツ実技B	半期	○	○	1										
		体育講義	半期	○	○	2										
留学科目		海外研究A	通年					4								
		海外研究B	半期			2										
		海外研究C	半期			1										
外国人及び 帰国生科目		日本語ⅠA	半期	●	1											
		日本語ⅠB	半期		●	1										
		日本語ⅡA	半期				●		1							
		日本語ⅡB	半期					●		1						
専門科目	基幹科目	国際学概説	半期	●	2										◎	
		異文化体験演習A（外国人支援）	半期				●		1							
		異文化体験演習B（インターンシップ）	半期					●	1							
		国際学演習Ⅰ	半期							●		2			◎	
		国際学演習Ⅱ	半期								●	2			◎	
		卒業演習Ⅰ	半期										●	2	◎	
		卒業演習Ⅱ	半期											●	2	◎
			半期													

※開講学年前期後期欄 { ●－原則としてその学期で開講。
○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目 ☆－日本語教員資格に必修	
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
専 門 科 目	第 1 類	総合英語 I A	●		2										} 週2回開講 6 単位選択必修 ◎ } 週2回開講 } 週2回開講	
		総合英語 I B		●	2											
		英語リーディングセミナー A	●		1											
		英語リーディングセミナー B		●	1											
		英語コミュニケーションセミナー	●		1											
		英語ディスカッションセミナー		●	1											
		初級中国語 A	●		2											
		初級中国語 B		●	2											
		実践中国語 I A	●		1											
		実践中国語 I B		●	1											
		初級韓国朝鮮語 A	●		2											
		初級韓国朝鮮語 B		●	2											
		実践韓国朝鮮語 I A	●		1											
		実践韓国朝鮮語 I B		●	1											
	第 2 類	総合英語 II				●		2							} 週2回開講 ◎ } 8 単位選択必修 } 週2回開講	
		英語ライティングセミナー				●		1								
		英語プレゼンテーションセミナー					●	1								
		英語で学ぶ時事問題					●	1								
		英語で学ぶ日本の社会と文化					●	1								
		ビジネス英語							●		1					
		日英翻訳実践							●		1					
		英語検定試験研究							●		1					
		中級中国語 A				●		2								
		中級中国語 B					●	2								
		実践中国語 II A				●		1								
		実践中国語 II B					●	1								
		上級中国語 A							●		1					
		上級中国語 B								●	1					
		実践中国語 III A							●		1					
		実践中国語 III B								●	1					
		中級韓国朝鮮語 A				●		2								
		中級韓国朝鮮語 B					●	2								
		実践韓国朝鮮語 II A				●		1								
		実践韓国朝鮮語 II B					●	1								
		上級韓国朝鮮語 A							●		1					
		上級韓国朝鮮語 B								●	1					
		実践韓国朝鮮語 III A							●		1					
		実践韓国朝鮮語 III B								●	1					
	第 1 類 (言語と多文化共生)	日本語のしくみ	●		2										} ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ◎ } 4 単位選択必修 ☆	
		日本語学 I		●	2											
		日本語学 II				●		2								
		異文化コミュニケーション論				●		2								
		比較文化論				●		2								
		ジェンダーと言語				●		2								
		モノと宗教					●	2								
		社会言語学				●		2								
		共生言語学					●	2								
		比較言語論 I					●	2								
		比較言語論 II							●		2					
		言語習得論							●		2					
		言語政策論								●	2					
		言語とテクノロジー								●	2					
		Topics in Japanese Linguistics					●	2								
		Topics in Japanese Culture							●		2					
		World Englishes							●		2					
		World Religions								●	2					
		Popular Culture Studies								●	2					
		Understanding Multiculturalism								●	2					

※開講学年前期後期欄 { ●－原則としてその学期で開講。
○－原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄－開講期はシラバス・履修要項を参照。

区 分	科 目 名	開講期	開 講 学 年												備 考	
			1 年			2 年			3 年			4 年			◎印－必修科目 ◎印－選択必修科目 ☆－日本語教員資格に必修	
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
専 門 科 目	第2類 (東アジア研究)	中国語圏の言語と文化				●		2							◎	4 単位選択必修
		中国語圏文化論					●	2								
		近現代中国の歴史と社会				●		2								
		現代中国の諸問題					●	2								
		東西文明交流 I				●		2								
		東西文明交流 II					●	2								
		朝鮮半島の文化と歴史 I				●		2								
		朝鮮半島の文化と歴史 II					●	2								
		東アジアと植民地支配				●		2								
		越境と移民					●	2								
		現代韓国の諸問題							●		2					
		社会的マイノリティと差別								●	2					
		China in Global Context							●		2					
		Two Koreas in Global Context							●		2					
		Contemporary Korean Culture								●	2					
		Japan in Global Context								●	2					
	第3類 (グローバルスタディーズ)	グローバル政治論 I				●		2							◎	4 単位選択必修
		グローバル政治論 II					●	2								
		ナショナリズム論				●		2								
		グローバリズムとナショナリズム					●	2								
		会計の世界史				●		2								
		震災とリスクマネジメント					●	2								
		グローバル経済 I				●		2								
		グローバル経済 II					●	2								
		開発と政治							●		2					
		平和論							●		2					
		グローバル・トピックス				●		2								
		グローバルビジネスと会計情報 I							●		2					
		グローバルビジネスと会計情報 II								●	2					
		International Relations I				●		2								
		International Relations II					●	2								
資 格 関 係 科 目	日本語教員基礎資格科目	日本語教育学概論 I		●	2										☆	
		日本語教育学概論 II				●		2							☆	
		日本語教授法					●	2							☆	
		日本語教育文法論							●		2				☆	
		日本語教育学特論 I							●		2				☆	
		日本語教育学特論 II								●	2				☆	
		日本語教育実習法 I							●		2				☆	
		日本語教育実習法 II								●	2				☆	
		日本語教育実習 I										●		2	☆	
		日本語教育実習 II											●	2		

国際教養学科卒業要件（2023 年度入学生より）

・卒業に必要な最低修得単位数

区 分			単位数		
教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	22	34
		知的基礎	6		
		課題探究	6		
	共通教養科目	人文系	4	12	
		社会系	4		
		自然系	4		
外国語科目	第 1 類		4		
専門科目	基幹科目		10		64
	専門外国語科目	第 1 類	6		
		第 2 類	8		
	第 1 類（言語と多文化共生）		4	40	
	第 2 類（東アジア研究）		4		
	第 3 類（グローバルスタディーズ）		4		
教養教育科目 外国語科目第 2 類・第 3 類（「ベーシック英語」を除く） 保健体育科目 留学科目 専門科目 他学部・他学科開講科目 協定を締結している他大学開講科目			22		
合 計			124		

〈カリキュラムマップの見方〉

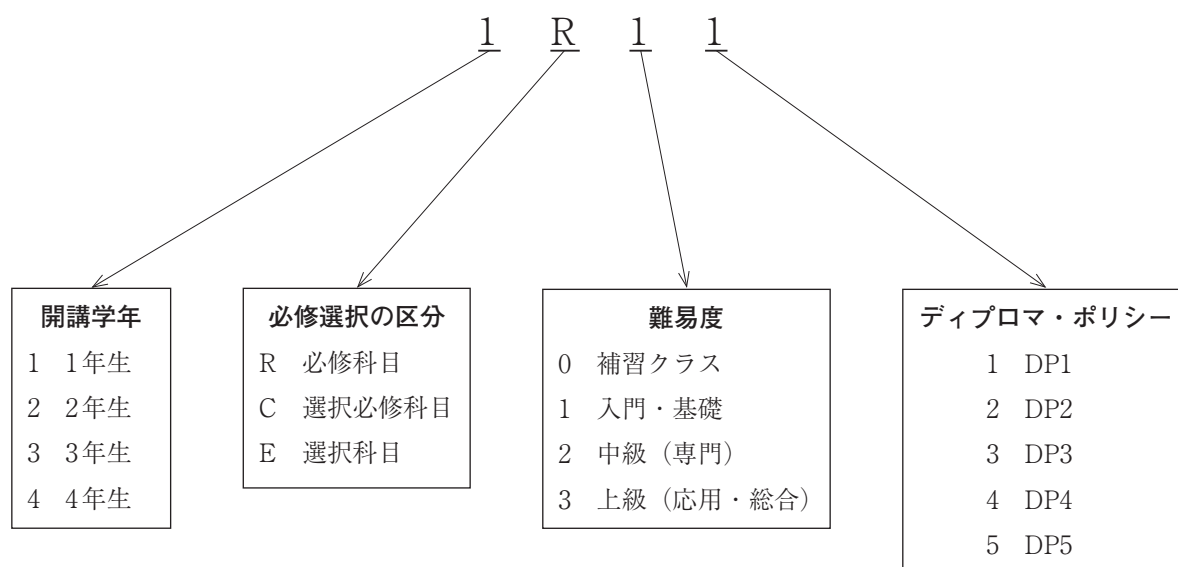
カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が、全学共通の5つの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）のうちどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。なお、DP5の細項目は、各学科の専門科目の学修によって達成を目指している方針・目標となります。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解し、履修の順序についてもしっかりと計画を立てておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。

右端の「ディプロマ・ポリシー」とは、その科目が最も達成しようとしている方針（DP）がどれかを示しています。



(1) 国際学部 国際教養学科 カリキュラムマップ (学位授与の方針との対応)

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる (現代をよく 生きる)	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる (汎 用的技能・能力)	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる (課題発見・ 解決)	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる (多面的 認識、思考)	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる (専門分野 の学修)
1R11	聖書を学ぶ	◎				
1R11	キリスト教の歴史と思想	◎				
3C21	キリスト教学 A (キリスト教と倫理)	◎				
3C21	キリスト教学 B (キリスト教と宗教)	◎				
3C21	キリスト教学 C (キリスト教と文化)	◎				
3C21	キリスト教学 D (キリスト教と現代社会)	◎				
2C11	共生社会と倫理	◎			○	
2C11	科学技術社会と倫理	◎			○	
1C11	よき社会生活のために A (法律)	◎			○	
1C11	よき社会生活のために B (福祉)	◎			○	
1C11	よき社会生活のために C (健康)	◎			○	
1C12	リーディング&ライティング		◎			
1C12	クリティカル・シンキング		◎			
1R12	情報リテラシー		◎		○	
1C12	統計的思考の基礎		◎		○	
1C12	科学的思考の基礎		◎		○	
1C13	キャリア形成の探究	○		◎		
3C13	東北学院史の探究	○		◎		
2C23	データ活用による探究		○	◎		
1C13	地域ボランティア活動の探究	○		◎		
2C23	地域課題の探究		○	◎	○	
1C23	課題探究演習		○	◎		
1E14	哲学				◎	
1E14	芸術論	○			◎	
1E14	文化の歴史				◎	
1E14	音楽	○			◎	
1E14	倫理学				◎	
1E14	文学				◎	
1E14	歴史学	○			◎	
1E14	文化人類学	○			◎	
1E14	言語論				◎	
1E14	心理学				◎	
1E14	社会学				◎	
1E14	経営学				◎	
1E14	経済学				◎	
1E14	法学				◎	
1E14	日本国憲法	○			◎	
1E14	現代の政治	○			◎	
1E14	地理学				◎	
1E14	社会福祉論				◎	
1E14	ジェンダー論				◎	
1E14	東北地域論				◎	
1E14	数理の科学				◎	
1E14	記号論理学		○		◎	
1E14	生命の科学				◎	
1E14	環境の科学				◎	
1E14	自然の科学				◎	
1E14	先端科学と技術				◎	
1E14	AI 社会の基礎		○		◎	
1R12	英語 I A		◎		○	
1R12	英語 I B		◎		○	
2R22	英語 II A		◎		○	
2R22	英語 II B		◎		○	
1C12	ドイツ語 I A		◎		○	
1C12	フランス語 I A		◎		○	
1C12	中国語 I A		◎		○	
1C12	韓国・朝鮮語 I A		◎		○	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
1C12	ドイツ語Ⅰ B		◎		○	
1C12	フランス語Ⅰ B		◎		○	
1C12	中国語Ⅰ B		◎		○	
1C12	韓国・朝鮮語Ⅰ B		◎		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ A		◎		○	
2E22	フランス語Ⅱ A		◎		○	
2E22	中国語Ⅱ A		◎		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ A		◎		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション A		◎		○	
2E22	フランス語コミュニケーション A		◎		○	
2E22	中国語コミュニケーション A		◎		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション A		◎		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ B		◎		○	
2E22	フランス語Ⅱ B		◎		○	
2E22	中国語Ⅱ B		◎		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ B		◎		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション B		◎		○	
2E22	フランス語コミュニケーション B		◎		○	
2E22	中国語コミュニケーション B		◎		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション B		◎		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ A		◎		○	
3E32	フランス語Ⅲ A		◎		○	
3E32	中国語Ⅲ A		◎		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ A		◎		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ B		◎		○	
3E32	フランス語Ⅲ B		◎		○	
3E32	中国語Ⅲ B		◎		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ B		◎		○	
1E02	ベーシック英語		◎		○	
1E12	英語コミュニケーション		◎		○	
3E32	英語Ⅲ A		◎		○	
3E32	英語Ⅲ B		◎		○	
1E11	スポーツ実技 A	◎				
1E11	スポーツ実技 B	◎				
1E12	体育講義		◎			
2E32	海外研究 A		◎		○	
1E22	海外研究 B		◎		○	
1E12	海外研究 C		◎		○	
1E12	日本語Ⅰ A		◎			
1E12	日本語Ⅰ B		◎			
2E12	日本語Ⅱ A		◎			
2E12	日本語Ⅱ B		◎			
1R14	国際学概説				◎	
2E23	異文化体験演習 A（外国人支援）			◎		
2E23	異文化体験演習 B（インターンシップ）			◎		
3R35	国際学演習Ⅰ			○		◎
3R35	国際学演習Ⅱ			○		◎
4R35	卒業演習Ⅰ			○		◎
4R35	卒業演習Ⅱ			○		◎
1C12	総合英語Ⅰ A		◎			
1C12	総合英語Ⅰ B		◎			
1C12	英語リーディングセミナー A		◎			
1C12	英語リーディングセミナー B		◎			
1C12	英語コミュニケーションセミナー		◎		○	
1C12	英語ディスカッションセミナー		◎		○	
1C12	初級中国語 A		◎			
1C12	初級中国語 B		◎			

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
1C12	実践中国語Ⅰ A		◎			
1C12	実践中国語Ⅰ B		◎			
1C12	初級韓国朝鮮語 A		◎			
1C12	初級韓国朝鮮語 B		◎			
1C12	実践韓国朝鮮語Ⅰ A		◎			
1C12	実践韓国朝鮮語Ⅰ B		◎			
2C12	総合英語Ⅱ		◎			
2C22	英語ライティングセミナー		◎			○
2C22	英語プレゼンテーションセミナー		◎			○
2C22	英語で学ぶ時事問題		◎		○	
2C22	英語で学ぶ日本の社会と文化		◎		○	
3C22	ビジネス英語		◎		○	
3C32	日英翻訳実践		◎		○	
3C32	英語検定試験研究		◎			
2C22	中級中国語 A		◎			
2C22	中級中国語 B		◎			
2C32	実践中国語Ⅱ A		◎			
2C32	実践中国語Ⅱ B		◎			
3C32	上級中国語 A		◎			○
3C32	上級中国語 B		◎			○
3C32	実践中国語Ⅲ A		◎			○
3C32	実践中国語Ⅲ B		◎			○
3C32	中級韓国朝鮮語 A		◎			
3C32	中級韓国朝鮮語 B		◎			
3C32	実践韓国朝鮮語Ⅱ A		◎			
3C32	実践韓国朝鮮語Ⅱ B		◎			
3C32	上級韓国朝鮮語 A		◎			○
3C32	上級韓国朝鮮語 B		◎			○
3C32	実践韓国朝鮮語Ⅲ A		◎			○
3C32	実践韓国朝鮮語Ⅲ B		◎			○
1C12	日本語のしくみ		◎			
1C22	日本語学Ⅰ		◎			
2C22	日本語学Ⅱ		◎			
2C24	異文化コミュニケーション論				◎	
2C24	比較文化論				◎	
2C23	ジェンダーと言語			◎		
2C24	モノと宗教				◎	
2C24	社会言語学				◎	
2C33	共生言語学			◎		
2C24	比較言語論Ⅰ				◎	
3C24	比較言語論Ⅱ				◎	
3C24	言語習得論				◎	
3C23	言語政策論			◎		
3C23	言語とテクノロジー			◎		
2C32	Topics in Japanese Linguistics		◎		○	
3C34	Topics in Japanese Culture		○		◎	
3C34	World Englishes		○		◎	
3C34	World Religions		○		◎	
3C34	Popular Culture Studies		○		◎	
3C34	Understanding Multiculturalism		○		◎	
2C24	中国語圏の言語と文化				◎	
2C24	中国語圏文化論				◎	
2C24	近現代中国の歴史と社会				◎	
2C24	現代中国の諸問題				◎	
2C24	東西文明交流Ⅰ				◎	
2C24	東西文明交流Ⅱ				◎	
2C24	朝鮮半島の文化と歴史Ⅰ				◎	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
2C24	朝鮮半島の文化と歴史Ⅱ				◎	
2C23	東アジアと植民地支配			◎		
2C23	越境と移民			◎		
3C23	現代韓国の諸問題			◎		
3C23	社会的マイノリティと差別			◎		
3C34	China in Global Context		○		◎	
3C34	Two Koreas in Global Context		○		◎	
3C34	Contemporary Korean Culture		○		◎	
3C34	Japan in Global Context		○		◎	
2C24	グローバル政治論Ⅰ				◎	
2C24	グローバル政治論Ⅱ				◎	
2C24	ナショナリズム論				◎	
2C23	グローバリズムとナショナリズム			◎		
2C24	会計の世界史				◎	
2C24	震災とリスクマネジメント				◎	
2C24	グローバル経済Ⅰ				◎	
2C24	グローバル経済Ⅱ				◎	
3C24	開発と政治				◎	
3C24	平和論				◎	
2C24	グローバル・トピックス				◎	
3C24	グローバルビジネスと会計情報Ⅰ				◎	
3C24	グローバルビジネスと会計情報Ⅱ				◎	
2C34	International RelationsⅠ		○		◎	
2C34	International RelationsⅡ		○		◎	
3C34	Understanding Global SocietyⅠ		○		◎	
3C34	Understanding Global SocietyⅡ		○		◎	
3C33	Global Business Case StudiesⅠ		○	◎		
3C33	Global Business Case StudiesⅡ		○	◎		
3C33	Contemporary Political Issues		○	◎		
1E14	日本語教育学概論Ⅰ				◎	
2E14	日本語教育学概論Ⅱ				◎	
2E25	日本語教授法		○			◎
3E25	日本語教育文法論		○			◎
3E25	日本語教育学特論Ⅰ		○			◎
3E25	日本語教育学特論Ⅱ		○			◎
3E25	日本語教育実習法Ⅰ		○			◎
3E25	日本語教育実習法Ⅱ		○			◎
4E35	日本語教育実習Ⅰ			○		◎
4E35	日本語教育実習Ⅱ			○		◎

(2) 国際学部 国際教養学科 カリキュラムマップ (専門分野の学修成果との対応)

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果		
		1	2	3
		専攻分野における基本的知識、その学問分野に固有の認識や思考方法について、その概要を説明することができる。(学問的基盤の構築)	専攻分野以外の視点や知見から、自己の分野を相対化しつつ、両者間の相互関連性についても指摘できる。(多様性への対応力)	母語以外の言葉を用いて、専門的な内容を理解し、明瞭に伝えることができる。(言語能力の向上)
1R14	国際学概説	◎		
2E23	異文化体験演習 A (外国人支援)		◎	
2E23	異文化体験演習 B (インターンシップ)		◎	
3R35	国際学演習 I	◎	○	
3R35	国際学演習 II	◎	○	
4R35	卒業演習 I		◎	
4R35	卒業演習 II		◎	
1C12	総合英語 I A			◎
1C12	総合英語 I B			◎
1C12	英語リーディングセミナー A			◎
1C12	英語リーディングセミナー B			◎
1C12	英語コミュニケーションセミナー			◎
1C12	英語ディスカッションセミナー		○	◎
1C12	初級中国語 A			◎
1C12	初級中国語 B			◎
1C12	実践中国語 I A		○	◎
1C12	実践中国語 I B		○	◎
1C12	初級韓国朝鮮語 A			◎
1C12	初級韓国朝鮮語 B			◎
1C12	実践韓国朝鮮語 I A		○	◎
1C12	実践韓国朝鮮語 I B		○	◎
2C12	総合英語 II			◎
2C22	英語ライティングセミナー			◎
2C22	英語プレゼンテーションセミナー			◎
2C22	英語で学ぶ時事問題		○	◎
2C22	英語で学ぶ日本の社会と文化		○	◎
3C22	ビジネス英語			◎
3C32	日英翻訳実践			◎
3C32	英語検定試験研究			◎
2C22	中級中国語 A			◎
2C22	中級中国語 B			◎
2C32	実践中国語 II A		○	◎
2C32	実践中国語 II B		○	◎
3C32	上級中国語 A			◎
3C32	上級中国語 B			◎
3C32	実践中国語 III A		○	◎
3C32	実践中国語 III B		○	◎
3C32	中級韓国朝鮮語 A			◎
3C32	中級韓国朝鮮語 B			◎
3C32	実践韓国朝鮮語 II A		○	◎
3C32	実践韓国朝鮮語 II B		○	◎
3C32	上級韓国朝鮮語 A			◎
3C32	上級韓国朝鮮語 B			◎
3C32	実践韓国朝鮮語 III A		○	◎
3C32	実践韓国朝鮮語 III B		○	◎
1C12	日本語のしくみ	◎		
1C22	日本語学 I	◎		
2C22	日本語学 II	◎		
2C24	異文化コミュニケーション論		◎	○
2C24	比較文化論		◎	
2C23	ジェンダーと言語		◎	○
2C24	モノと宗教		◎	
2C24	社会言語学	◎		
2C33	共生言語学	◎		
2C24	比較言語論 I	◎		
3C24	比較言語論 II	◎		
3C24	言語習得論	◎		

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果		
		1	2	3
		専攻分野における基本的知識、その学問分野に固有の認識や思考方法について、その概要を説明することができる。(学問的基盤の構築)	専攻分野以外の視点や知見から、自己の分野を相対化しつつ、両者間の相互関連性についても指摘できる。(多様性への対応力)	母語以外の言葉を用いて、専門的な内容を理解し、明瞭に伝えることができる。(言語能力の向上)
3C23	言語政策論	◎		
3C23	言語とテクノロジー	◎		
2C32	Topics in Japanese Linguistics		◎	○
3C34	Topics in Japanese Culture		◎	○
3C34	World Englishes		◎	○
3C34	World Religions		◎	○
3C34	Popular Culture Studies		◎	○
3C34	Understanding Multiculturalism		◎	○
2C24	中国語圏の言語と文化	◎		
2C24	中国語圏文化論	◎		
2C24	近現代中国の歴史と社会	◎		
2C24	現代中国の諸問題	◎	○	
2C24	東西文明交流 I	◎		
2C24	東西文明交流 II	◎		
2C24	朝鮮半島の文化と歴史 I	◎		
2C24	朝鮮半島の文化と歴史 II	◎		
2C23	東アジアと植民地支配	◎	○	
2C23	越境と移民	◎	○	
3C23	現代韓国の諸問題	◎	○	
3C23	社会的マイノリティと差別		◎	
3C34	China in Global Context		◎	○
3C34	Two Koreas in Global Context		◎	○
3C34	Contemporary Korean Culture		◎	○
3C34	Japan in Global Context		◎	○
2C24	グローバル政治論 I	◎		
2C24	グローバル政治論 II	◎		
2C24	ナショナリズム論	◎		
2C23	グローバリズムとナショナリズム	◎		
2C24	会計の世界史		◎	
2C24	震災とリスクマネジメント		◎	
2C24	グローバル経済 I	◎	○	
2C24	グローバル経済 II	◎	○	
3C24	開発と政治	◎		
3C24	平和論		◎	
2C24	グローバル・トピックス		◎	
3C24	グローバルビジネスと会計情報 I	◎	○	
3C24	グローバルビジネスと会計情報 II	◎	○	
2C34	International Relations I	◎	○	○
2C34	International Relations II	◎	○	○
3C34	Understanding Global Society I		◎	○
3C34	Understanding Global Society II		◎	○
3C33	Global Business Case Studies I		◎	○
3C33	Global Business Case Studies II		◎	○
3C33	Contemporary Political Issues		◎	○